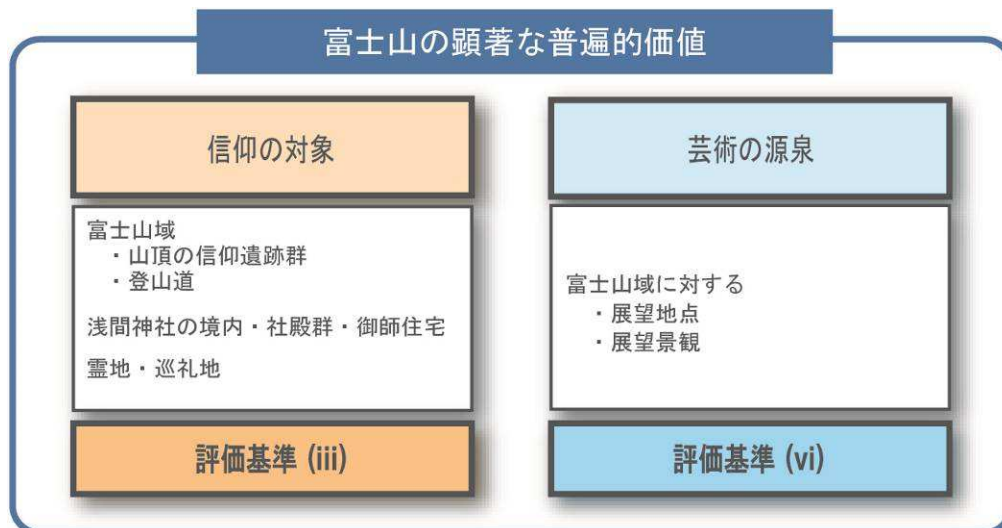


<旧>



評価基準 (iii)

「富士山信仰」という山岳に対する固有の文化的伝統を表す証拠

富士山を居処とする神仏への信仰を起源として、火山との共生を重視し、山麓の湧水などに感謝する伝統が育まれ、その本質は、時代を超えて今日の富士登山及び巡礼の形式・精神にも確実に継承された。富士山とその信仰を契機として生み出された多様な文化的資産は、富士山が今なお生きている山岳に対する文化的伝統の類い希なる証拠であることを示している。

評価基準 (vi)

顕著な普遍的意義を持つ芸術作品との直接的・有形的な関連性

19世紀前半の浮世絵に描かれた富士山の図像は、近・現代の西洋美術のモチーフとして多用され、欧州における数多の芸術作品に多大なる影響を与えたのみならず、日本及び日本の文化を象徴する記号として広く海外に定着した。富士山は、そのような顕著な普遍的意義を持つ芸術作品と直接的・有形的な関連性を持ち、日本及び日本の文化の象徴としての記号化された意味を持つ類い希なる山岳である。